

演題

- ① 診断用模型の製作方法と模型による診断方法
- ② 日本人（モンゴロイド系）の咀嚼運動に調和した咬合面形態について

抄録 我々歯科技工士は日常臨床において、患者さんの口腔内の情報である歯牙、歯列、前後側方彎曲、咬合平面などがどのような状態にあり形態的に何が良くて何が悪いのか理解せずに^{各々}仕事をしているのが現状ではないでしょうか、そこで今日は、患者さんの口腔内状態を把握する為の診断用模型の製作方法と模型の診断方法について説明し、患者さんの口腔内の状態を把握した補綴物の製作方法についてお話ししてみたい。又、咀嚼運動について説明し、日本人（モンゴロイド系）の咀嚼運動に調和した咬合面形態の因子とその製作方法及び製作器具について報告したい。

平野歯科医院勤務 小川展章

プロフィール 1982年 下関歯科技工専門学校卒業

同年 平野歯科医院勤務

日本包括歯科臨床学会会員

スタディーグループOD会会員